

2026.03

ヘルメット取付資料

B+COM

7X EVO ×

Arai

CLASSIC AIR



取付前の準備

1. 取付準備

SHOEI ヘルメット「CLASSIC AIR」の B+COM 取付方法をご紹介します。



2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



3. システムパッド取外し

スピーカーベースを取外してから、ヘルメットの左側システムパッドを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。



スピーカーの取付

4. 面ファスナーの貼付け

ヘルメット内の左右にあるイヤーホールへ、「スピーカー固定用面ファスナー」をそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



5. 調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用してください。
耳が押されて痛い場合は外してください。



6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。**



7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側から、配線を帽体と内装の内側へ通します。



8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方に取り付けられているホックを外し、内側にスピーカーの配線を通すと、きれいに取り回せます。



9. 左側スピーカー取付け

左側も同様に、配線を通したあと、左側スピーカーを貼付けます。



ハイブリッドアームマイクの取付け

※画像は VZ-RAM のものですが同様の方法で進めてください。

10. マイクスポンジ取付け

マイクスポンジを装着します。

※マイクスポンジは必ず取付けてご使用ください。風切り音を軽減します。
※マイク根本の突起がある面が集音面です。



11. 貼付け位置の確認

マイク用面ファスナー、マイクを仮置きして貼付け位置を決定します。

※マイクとホックが近い場合、ホックが外れやすくなる恐れがあります。
※マイク用面ファスナーがヘルメットのホックに重なる場合はカットします。

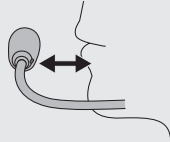


12. マイク取付け

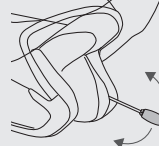
マイク用面ファスナーを貼付け後、マイクをヘルメットに取付けます。



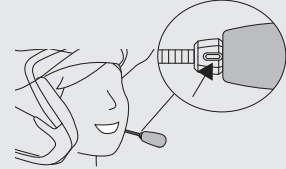
マイク取付けの 注意点



・マイクは1~2cm離れたところに設置



・口元に合わせる際は無理に曲げたり引っぱりすぎないようにしてください。落下の原因となります。



・マイクの突起を口元と向い合わせてください。

マグネットクレードルの面ファスナー貼付け

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、面ファスナーのフックを用意します。



EX2. 面ファスナー大の貼付け

貼付部の角に合わせてながら、面ファスナー大を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。



EX3. 面ファスナー小の貼付け

貼付部の角に合わせてながら、面ファスナー小を貼付けます。



EX4. 完成

貼付部の角に合わせながら、保護ラバーの大きをそれぞれ貼付けます。



マグネットクレードルの貼付け

13. 面ファスナーループの貼付け 1

面ファスナーのループは剥離紙が縦半分に別れます。半分剥がしてヘルメットにつけると、大・小を正確に貼ることができます。



14. 面ファスナーループの貼付け 2

右の画像を参考に面ファスナーのループ大・小を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。

※貼付け後、約 24 時間保管しご使用ください。



15. マグネットクレードルの取付け

マグネットクレードルを貼付けます。

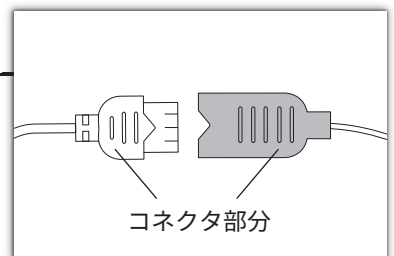


配線方法

16. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのスピーカー、マイクコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



17. システムパッド取付け

配線を整え、システムパッドを元に戻します。



本体の取付け

18. 本体ユニットの取付け

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

